

序章. 計画概要

1. 目的

本業務は、千葉県都市計画道路見直しガイドライン（平成 22 年 千葉県）における長期未着手路線の評価に必要な将来交通量を予測し、費用対効果や整備効果順位を検討することを目的とする。なお、上記ガイドラインに基づき「点検候補路線」に位置づけられている路線は、次のとおりである。

表 1 点検候補路線の概要

図中番号	路線名 (): 状況	ガイドラインに基づく評価結果
A	3・4・10号 青山・日秀線 (現道なし)	広域交通軸である国道6号と3・5・15号(根戸新田・布佐下線)、都市軸である国道356号を結ぶ路線 都市計画マスタープランでは幹線道路に位置づけられているものの、JR成田線と交差し立体交差となるなど、地形的な制約を受ける
B	3・4・13号 布佐駅前線 (現道あり)	鉄道駅へのアクセス機能を有し都市計画マスタープランでは補助幹線道路に位置づけられているものの、並行して県道が配置されている。沿道に商店街が形成されており、道路整備により商店街の存続が危ぶまれる
C-1	3・5・16号 我孫子・布佐線 (現道なし)	高低差が10m以上あり計画線上は現在住宅地が張り付いており、一部計画線が小学校の校舎にかかっている中で、国道356号が並行に配置され通行機能等を代替している
C-2	3・5・16号 我孫子・布佐線 (現道あり)	JR成田線と並行して各駅を結ぶ路線であり、都市計画マスタープランの幹線道路に位置づけられているものの、接続する印西市の都市計画道路は廃止が検討されている

図 1 点検候補路線区間図



2. 調査の進め方

報告書の構成	作業内容
<p>I章. 実態調査と現況分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上位計画となる都市計画マスタープランや既往資料を用いて、我孫子市の道路整備を取り巻く環境を整理する 現地調査等により、都市計画道路の点検候補路線の状況を把握する
<p>II章. 将来交通量推計</p>	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県将来交通量需要推計（平成24年7月 千葉県）を基礎データとして将来交通量を推計する
<p>III章. 幹線道路網体系の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我孫子市都市計画マスタープランで示されている幹線道路網配置方針を、交通量推計結果をもとに検証する
<p>IV章. 都市計画道路の見直しに向けた定量評価</p>	<p>(自動車の処理機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現道なし未整備の路線区間を評価する。路線があった場合の機能を評価しながら、無かった場合の周辺道路に及ぼす影響を評価する <p>(歩行者・自転車の通行機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者・自転車の通行機能を検証するために、実態調査を実施し、現況の通行量からその機能を評価する <p>(費用対効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 費用便益分析マニュアル（平成20年11月 国土交通省）等に基づき計算する
<p>V章. 整備効果順位の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果等の定量結果をもとに優先順位を検討する